

職員の倫理観高める

職員倫理条例可決

嘉麻市職員倫理条例は、職員に係る倫理の保持に關し必要な事項を定めることにより、職務執行の公正さに対する市民の疑惑や不信を招くような行為の防止を図り、公務に対する市民の信頼を確保するため提案されたものです。

審査の結果、職員の公正な職務遂行の支援に關しては市民だけでなく事業者等も加える修正を行い、可決しました。

主な倫理原則

- 自らの行動が市民の信頼に影響をおよぼすことを深く認識し、市民の信頼を裏切る行為をせず公正で高い倫理観のもとに行動する。
- 市民全体の奉仕者であることを自覚し、市民の一部に対してのみ有利な取扱いなどの不当な差別的取扱いをしない。
- 職務や地位を私的利益のために用いてはならない。
- 職務に係る権限の行使にあたり、その対象者から金銭、物品その他財産上の利益供与や供応接待を受けるなどの市民から疑惑や不信を招かれる行為をしてはならない。

意見書

JR不採用問題の早期全面解決を求める

国鉄が民営化され、話し合いを全ての関係当事者との間で推し進めるよう勧める」と一部が採用されないとの報告書を採択してという問題が発生しています。

19年が経過しました。よって、政府に対しILO（国際労働機関）は日本政府に対し、強く求めるものです。「多くの労働者が被っている深刻な社会的・経済的影響を考慮し、採決の結果、全会一致で意見書を可決し、関係大臣に提出しました。

障がい者自立支援法の抜本的な改正を求める

昨年10月から障がい者自立支援法が施行され、施設利用などの定率一割負担の導入が、障がい者の生活を直撃しています。よって、同法の根本的な見直しを求めるものです。

障がい者の生活実態を重く見た地方自治体は、独自の負担軽減策を行っています。その間、採決の結果、全会一致で意見書を可決し、関係大臣に提出しました。

願

請

市バス停留所設置を求める

旧山田市の長野地区に停留所がなく、400mほど坂道を登ったところにある観音谷停留所から乗車しているため、高齢者には身体的に大きな負担となります。よって、長野地区に停留所の設置を求めるものです。

討論では、「設置することにより西鉄バスとの競争が考えられ、それによって西鉄バスが廃止されることになれば、他の多くの住民に迷惑がかかる」との反対意見が出されました。採決の結果、賛成多数で請願書を採択しました。